

こどもの意見聴取について

本計画の策定にあたって、こども基本法第11条の規定に基づき、こども・若者の意見を本計画に反映させるため、当事者の意見聴取を行う。

1. アンケート調査

- ・実施方法：郵便による配布、WEB回答
- ・対象者：唐津市内在住の16歳から39歳までの対象者3,000人
- ・実施時期：令和7年8月後半～令和7年9月

2. 対面での意見聴取

- ・実施方法：座談会、グループワーク、ワークショップ
- ・対象者：唐津市内在住の16歳～29歳
- ・実施時期：令和7年11月後半～令和7年12月末

【令和6年度の実施内容】こども・若者ヒアリング～からっ子 VOICE～

唐津市に住むこども・若者の意見を聞き、こども・若者の状況やニーズを正確に踏まえ、より実効性のある施策を検討するための取り組みとして、「唐津市こども・若者ヒアリング～からっ子 VOICE～」を実施しました。

●開催日時・場所

令和6年12月26日 唐津市役所 大手口別館 5階会議室

●参加者

市内在住の高校生：8名

●内 容

4つのテーマについて、2つのチーム「ゾンサガチーム」「ユーリチーム」に分かれてグループトークを行いました。テーマごとに2つの問いかけをして、自由に意見をもらっています。

●結果の概要

【テーマ1】こども・若者の生活について（学校、家庭等）

あなたの生活の中での楽しみ、悩み事は何ですか？

【楽しみ】

- ・学校、部活、友達と話す（学校に関することが楽しみの中心）
- ・友達と話すこと、遊ぶこと（休み時間に友達と話したり、オンラインゲームなど）
- ・趣味（ゲーム、NPOの活動等）、ご飯を食べること
- ・その他、映画やショッピング、睡眠、お出かけなど

【悩み事】

- ・進路やテストが多いなど学業面の悩み
- ・部活で勉強時間がとれない、家に帰ったらすぐ寝てしまって勉強できない
- ・参加者には人間関係での悩みがある子はいなかった（周囲では悩んでいる友人もいる）
- ・友人が悩んでいることに共感して、一緒に悩むときもある

※忙しいこともあるけれど、それすらも楽しいと思えるので悩みはないという意見も。

楽しいこと、悩み事などがあるとき、誰によく話す？

あなたの意見や考えは、大人の人にきちんと聞いてもらえていると思う？

【話す相手】

- ・友達、部活の仲間、先生、親
- ・悩み事は親しい友達に話す、ネットで検索して自己解決する
- ・悩み事は、親にはあまり相談しないという子もいた
- ・いろんな人の意見を聴くようにしている
- ・大人には言いづらく、友達にしか話さない（大人側は受け入れてくれるが、自分が壁を感じて話せない）

※どういう悩み事だと大人に話そうと思うか質問すると、進路や、人生の先輩として答えてほしい悩みができたらするかもという意見。

【大人の人に話を聞いてもらえている？】

- ・皆、聞いてもらえていると思うと回答。（話しづらいときも、大人側から気にかけて聞いてくれる）
- ※スクールカウンセラーについて、身近な存在でなく、悩みを相談できない、利用の仕方がわからない、あえてスクールカウンセラーに相談する理由がない、などの意見。

【テーマ2】こども・若者の遊び場、居場所について

学校が終わった後、よく居る場所や、よくしている活動は何？

- ・部活動、習い事（塾）、勉強する
- ・カフェ、カラオケ、コンビニエンスストア
- ・家で寝る、友達の家
- ・学校の近くでちょっと休憩できるところで友達と話す
- ・SNS を参考にしてハンドメイドをする など

※平日は放課後も部活動などで学校にすることが多く、自分の時間はあまりないという意見が多かった。

こんな場所があれば嬉しい、こんなイベントなどがあれば行きたい

- ・勉強する場所がいろんなところでできてほしい（今はボートレース場か市役所、図書館で勉強しているが、すぐ埋まって利用できない時がある）
- ・遊ぶ場所が欲しい
- ・以前はボウリング場があったけど、なくなってしまった…
- ・映画館（映画を見るハードルが高い、小規模なところしかなく、見たい映画がない）
- ・多くの世代が集まれる施設
- ・色んな人が集まって自由に楽器が演奏できる屋内施設
- ・道具などを貸し出してくれて、予約しなくても使える体育施設
- ・フリーマーケットなど、運営側・お客さん側の両方をやってみたい
- ・市と一緒にイベントを企画するような取り組みがあれば参加したい



【テーマ3】ヤングケアラー、貧困について

ヤングケアラーについて知っていることや、イメージは？
ヤングケアラーの支援について、何が必要だと思う？

【イメージ】

- ・眠れなさそう、大変そう、ストレスがたまりそう
- ・学生時代にしたいことができなさそう
- ・勉強面などでスタートラインが遅れそう、周囲と差がつきそう
- ・未成年で介護していたら、勉強時間など確保できない
- ・もし自分が当事者だったら友達には話せない

【必要な支援】

- ・ホットラインを設置する（匿名で電話やチャットで相談できるもの）
- ・チャット＞電話＞対面 対面が一番相談しづらい、匿名で相談できるような取り組みが必要
- ・訪問介護や出張介護、お手伝いさんの存在（ケアラーが自分の時間が確保できるように）
- ・ヤングケアラー同士が繋がる場所があれば相談しやすい（県外でも、共感が大事だから）
- ・リモートで授業を受けられるようにした方がいい

※「ヤングケアラーに周囲が気付くには」と質問したところ…

- ・実態アンケートをする
- ・そもそも、みんなが知る機会を増やす（学校の講演やCM）

こどもの貧困を解消するために必要だと思うこと

- ・ひとり親家庭への支援（貧困は相対的にひとり親家庭に多いと思うから）
- ・こども食堂（だれでも来ていいよという宣伝の仕方の方が行きやすそう）
- ・補助金制度
- ・そもそも、ひとり親を少なくする取り組み
- ・親：経済的な支援
- ・子：学習支援（貧困のループを打ち消すため、地域の学生ボランティアによる支援）
- ・小さい子がいて働けないとかなら、保育所などのこどもを預けることができる施設の充実や拡充



【テーマ4】唐津市について

「唐津」の好きなところや、これからも大切にしたいこと

- ・虹の松原（虹の松原の保全のために活動している団体が多くいて、自然環境を大切にしていこうとしているところも好き）
- ・田舎すぎず、都会すぎないところ
- ・地理的な位置（福岡市にも、佐賀市にも行きやすい）
- ・イカ
- ・唐津くんち
- ・自然が多い、空気がおいしい、山と海が近い
- ・人と人のつながりが深い

※皆が共感していた意見として「何よりもご飯がおいしい、魚がおいしい」「福岡から近い」など

「唐津」の「ここ」がもっと「こう」になったら良い、嬉しい

- ・遊ぶところが増えてほしい、唐津の遊ぶところ（キャナルシティみたいな大型商業施設）
 - ・コスメ産業に力を入れる
 - ・虹の松原など観光資源をアピールする
 - ・旧市街地外に行くためのインフラ整備
 - ・駅周辺の活性化
 - ・みんなが集まる場所を組み込んだ商店街みたいなところ（いろんな人が集まれるし、食べ歩きもできるし楽しい場所）
 - ・イベント（花火や唐津くんち）の時に電車の本数が増えたらいい
 - ・中心地以外の活性化（飲食店など気軽に行けるところが少ない）
 - ・中心地以外の交通網、電車ないしバスは本数が少なくて便が悪い
 - ・朝の渋滞解消（松浦橋）
 - ・通学路のカーブミラー、小さい道など危ないと感じるところがある
- ※「どうやったら、大人になっても住み続けたいと思えるか」と質問したところ…
- ・働く場所が増えたら戻ってきたいと思えるかも
 - ・学生の時に唐津について学ぶ機会を与えることで、唐津に愛着がわき唐津に住み続けたいと思える
 - ・車があれば住みやすいまち
 - ・住みたいと思うけど、進学等した後に戻ってくるか微妙
 - ・車がないと生きていけないのが不満、交通の便が悪い
 - ・都会より不便、都会に住みたい
 - ・老後に住みたい、若いときは刺激がない

